

競技別実施要項

【 空手道 】

1. 期日

平成 25 年 7 月 27 日(土)	代表者・審判会議	午前 8 時 3 0 分
	監督会議	午前 8 時 4 0 分
	開 会 式	午前 9 時 3 0 分
	写 真 撮 影	午前 1 0 時 0 0 分
	試 合 開 始	午前 1 0 時 3 0 分
平成 25 年 7 月 28 日(日)	試 合 開 始	午前 9 時 0 0 分
	表彰式・閉会式	午後 3 時 0 0 分

2. 会 場

茨城県武道館 〒310-0045 茨城県水戸市新原 2-11-1. Tel : 029-251- 8444

3. 競技及び構成

- (1) 同一団員が形と組手の両方に出場することはできない。ただし、大会日においてケガ及び傷病等により欠場団員が出た場合は、別の種目より同学年の団員が出場できる。
- (2) 団体形 各都県男女 2 チーム(先鋒小学 4 年・中堅小学 5 年・大将小学 6 年生の各学年 1 名、計 3 名で 1 チームとする。)
- (3) 団体組手 各都県男女 2 チーム(先鋒小学 4 年・中堅小学 5 年・大将小学 6 年生の各学年 1 名、計 3 名で 1 チームとする。)

4. 競技規定及び方法

- (1) 平成 25 年度公益財団法人全日本空手道連盟競技規定及び、関東ブロックスポーツ少年団空手道競技会の申し合せ事項による。
- (2) コートは安全確保のため空手マットを使用(8メートル×8メートル)し、男子 2 コート、女子 2 コートの 4 コートで行なう。
- (3) 男子・女子ともそれぞれ監督 1 名(計 3 名)をつける。監督は、3 名としそれを超える監督を擁する。

都県は、主催県指定の ID カードを用い同時に 3 名を超える監督がアリーナに入ることは出来ない。

(4) 団体形

- ア) 各チームを A・B・C・D の 4 ブロックに分け予選リーグを行い、各ブロック上位 2 チームによる決勝トーナメントを行なう。また下位チームは交流戦を行う。
- イ) 審判員は 5 人によるフラッグ方式で行なう。
- ウ) 予選リーグ及び交流戦は 2 名同時に演武し、決勝戦では 1 名ずつの演武とする。
- エ) 演武する形は、予選リーグは、指定形とし繰り返し演武することができる、決勝トーナメントは予選で使用した以外の指定形もしくは、自由形とし繰り返し演武することができる。(但し基本形は含まない。)

- オ) チームの勝敗は個人の勝敗によって決まる。チームの勝敗が決まっても3名全員が競技する。
- カ) チームの順位決定は対チーム勝数による。同数の場合は総得点の多いチームを上位とし、更に同数の場合は直接対決の結果による。
- キ) 交流戦の演武する形は、自由形とする。

(5) 団体組手

- ア) 各チームをA・B・C・Dの4ブロックに分け予選リーグを行い、各ブロック上位2チームによる決勝トーナメントを行なう。また下位チームは交流戦を行なう
- イ) 審判員は、主審1名・副審4名、監査1名とする。
- ウ) 時間は1分30秒フルタイムとし、個人の勝敗は4ポイント差又は6ポイント先取とする。
- エ) チームの勝敗が決まっても3名全員が競技する。
- オ) 棄権及び反則負けの場合は4-0とする。
- カ) 予選リーグの順位決定は、チームの勝敗数を比較し、同数の場合は勝者と敗者の得失点の比較による。
更に同点の場合は、得点の得失点数による。それでも決まらないときは、直接対戦の結果による。決勝トーナメントにおいては、勝敗が同数の場合は得失点数による。
更に同数の場合は、代表決定戦を行い勝敗を決める。チームの勝敗が決まっても3名全員が競技する。
- キ) 安全具については、JKF指定のメンホー・ボディープロテクター・シンガード・インステップガード・赤青の拳サポーターを使用するほか、男子はセーフティーカップを着用すること。
※ 拳サポーターについては赤・青とし、リバーシブルは不可とする。
- ク) 空手着は、白色清潔なものを着用し、上着の背面中央にあらかじめ配布されたゼッケンをつける。胸に各県マーク・袖はスポーツ少年団の登録マークを着けその他は一切認めないものとする。

5. その他

- (1) 「競技運営事項」及び「審判注意事項」においては、代表者会議において説明する。
- (2) 競技中の事故に対しては、主催者は応急処置を行い、その後は参加者の側で処置する。
- (3) 競技においては団員の安全を優先し、連続して行うことのないよう進行で工夫する。
- (4) 審判員は(公財)全日本空手道連盟地区組手審判以上の資格を有するものとする。
- (5) 記念品交換は、1日目の開会式前に・全員で集合写真・各都道府県別を撮影し之に充てる。
- (6) 各都県のA・Bチームの選手振り分けは、各都県に一任する。
※ 経費については、500円の自己負担とする。
※ 負傷・病気等による選手の交代は、他の種目で同学年の選手から選抜する。
※ 組手競技についてテンカウントは、採用しない。
※ 赤・青の帯は選手の自前(マイ帯)とする。
※ 呼び出しは、赤・青 先鋒○○選手とする。